



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ ジ タ ル ガ レ ー ジ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 グ ル ー プ C E O 林 郁
(J A S D A Q ・ コ ー ド 4 8 1 9)
(U R L <http://www.garage.co.jp/>)
問 い 合 せ 先 取 締 役 コ ー ポ レ ー ト ス ト ラ テ ジ ー 本 部 管 掌
曾 田 誠
T E L 0 3 - 6 3 6 7 - 1 1 1 1

東京証券取引所市場第一部への上場市場変更承認に関するお知らせ

当社は本日、株式会社東京証券取引所の承認を受け、平成 28 年 5 月 9 日をもちまして、当社株式が東京証券取引所市場第一部へ市場変更されることとなりましたので、お知らせ致します。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創業以来、「インターネット時代の『コンテキスト』を創っていく会社」になるという企業理念のもと、新しいインターネットサービスを次々と生み出して参りました。今後も世の中に役立つ新しい『コンテキスト』を創造し、よりよい社会の構築に貢献し、東証一部上場企業として、さらなる事業を拡大し、企業価値を向上させるとともに資本市場の発展に努めて参ります。

なお、当社株式の東京証券取引所への上場に関する詳細につきましては、日本取引所グループホームページ (<http://www.jpx.co.jp/>) をご覧ください。

当社はこれまでの事業の拡大において、子会社 3 社が上場を致しました。うち、2 社（旧株式会社イーコンテキスト（平成 17 年大阪証券取引所へラクレス市場上場／平成 20 年非上場化、以下「旧 EC 社」）、econtext Asia Limited（平成 25 年香港証券取引所上場／平成 27 年非上場化、以下「ECA 社」）の子会社上場は、それぞれの上場時の成長戦略において、システム開発投資を目的とした資金調達、財務体質強化および社会的信用力の向上（旧 EC 社）、アジアでの知名度向上・M&A 等を目的とした資金調達（ECA 社）を掲げ、当社および上場子会社の株主価値の向上に資するとの判断に基づき、決定致しました。一方、結果として短期間

で非上場化に至ったことについては、環境変化に伴うグループシナジーの強化の必要性・内部統制等に係るコストの増加（旧 EC 社）、アジアでの E コマース関連企業の企業価値高騰により上場子会社単独による M&A 等が困難になったこと・急激な外部環境の変化（ECA 社）などを受け、当社及び上場子会社の株主価値の向上に資さない状況となったことから、十分に検討を行った上で、実施においてのスキームの在り方等、上場子会社の少数株主の利益の保護についても十分に留意し、決定致しました。尚、それぞれの実施理由については既に個別に開示を行っております。

当社は、子会社上場の目的が短期的な目標達成のために行なわれること、また短期間で非上場化することは、中長期での成長に期待し、投資頂いた投資家の期待に応えることが困難なことから、望ましいものではないと認識しております。尚、当社は現在、子会社上場の具体的な計画はございません。

以上